

## 第 4 章

---

東京2020大会のレガシーを生かし  
共存共栄へ

## 東京2020大会のレガシーを生かし共存共栄へ

人口減少と少子高齢化の進展によって、今後の内需の大幅な伸びが期待できなくなる中、東京の持続的な成長と発展を実現する上で、大会開催を契機として国内外のあらゆる人々が快適に旅行を楽しめる環境を整備するとともに、近年急激に拡大する海外からのインバウンド需要を取り込んでいくことは急務となっている。

東京2020大会に向けた3つの重点テーマに基づく取組の推進にあたっては、大会の確実な成功に貢献するだけでなく、大会後の観光産業の更なる飛躍につなげていくことが重要である。

そのため、大会開催に向けて観光案内機能の充実や多言語対応、宿泊施設のバリアフリー化などの受入環境整備を推進することで「あらゆる旅行者を歓迎する東京」を実現し、大会後の持続的な旅行者の受入につなげていく。

また、大会開催に向けてナイトライフ観光や地域の観光資源の開発を促進することで「多彩で良質な体験ができる東京」を実現し、大会後も地域が自律的、自主的に観光振興を行い、都内各地域で恒常的ににぎわいが生み出される体制の構築につなげていく。

さらに、大会開催に向けて観光プロモーション等を展開し、東京のブランドを浸透させていくことで「グローバルに魅力を発信する東京」を実現し、大会後の持続的な旅行者誘致につなげていく。

本プランに基づく重点的な取組により東京2020大会以降に継承するこれらのレガシーを、東京2020組織委員会の「アクション&レガシープラン」や都の「2020年に向けた東京都の取組」に基づき創出されるレガシーにもつなげ、大会後の観光産業の発展の礎としていく。

併せて、「持続可能な観光」といった新たな課題も踏まえながら、観光産業を支える基盤を継続的に強化していく。

これらの取組により、東京2020大会後も東京の観光産業を更に発展させていくと同時に、こうした東京の活力を日本各地へ波及させ、多くの外国人旅行者が集まる東京が日本各地と世界の結節点の役割を果たすことにより、東京と日本各地の連携を深化・発展させ、「共存共栄」を目指していく。

# 東京2020大会を契機としたレガシーの創出

## 重点テーマ1

### 世界一のおもてなし都市・東京の実現

- 観光案内機能の充実
- 多言語対応の強化
- 宿泊施設のバリアフリー化の推進

#### ◆レガシー

#### 「あらゆる旅行者を歓迎する東京」

▶ 大会後の持続的な旅行者の受入へ

## 重点テーマ2

### 世界の旅行者を楽しませる旅行体験の創出

- ナイトライフ観光の推進
- 都内各地域の多彩な魅力の開発と発信

#### ◆レガシー

#### 「多彩で良質な体験ができる東京」

▶ 大会後の都内各地域のにぎわいへ

## 重点テーマ3

### 旅行地としての世界的な認知度の向上

- 大会開催に向けた観光プロモーションの展開
- 海外企業のビジネスイベントの誘致
- 日本各地と連携した旅行者誘致

#### ◆レガシー

#### 「グローバルに魅力を発信する東京」

▶ 大会後の持続的な旅行者誘致へ

## 東京の観光産業の更なる発展

東京の活力を日本各地へと波及  
東京が日本各地と世界の結節点に

## 東京と日本各地の共存共栄

## <参考>

### 【アクション&レガシープラン】

(2016年7月組織委員会策定、2018年7月改訂)

- 組織委員会では、東京2020大会を2020年に東京で行われるスポーツの大会としてだけでなく、2020年以降も含め、日本や世界全体に対し、スポーツ以外にも含めた様々な分野でポジティブなレガシーを残す大会として成功させるため、「アクション&レガシープラン」を策定している。

#### レガシーの5本の柱



#### ◆観光のレガシー

(「復興・オールジャパン・世界への発信」の一項目)

- ・ 観光産業が日本経済を支える産業の1つとなっている。
- ・ 外国人旅行者が快適に滞在できる環境整備を推進し、外国人旅行者の増大等をもたらすとともに、さらにその効果で日本人の生活環境もより快適になる。
- ・ 日本全国に外国人が往来することにより、各地の観光産業が活性化されるとともに、ボランティア活動も含めた地域の人々による外国人旅行者の受入が促進されることによる交流が生まれ、地域の人々の財産となる。

### 【2020年に向けた東京都の取組】

(2015年12月都策定、2017年12月PR版改訂)

- 都では、競技施設や選手村をはじめ、文化、教育、環境、経済、被災地の復興など、大会後のレガシーを見据えた8つのテーマについての都の取組を明らかにした「2020年に向けた東京都の取組」を策定している。

#### 大会後のレガシーを見据えた8つのテーマ

- 1 競技施設や選手村のレガシーを都民の財産として未来に引き継ぎます
- 2 大会を機に、スポーツが日常生活にとけ込み、誰もがいきいきと豊かに暮らせる東京を実現します
- 3 都民とともに大会を創りあげ、かけがえのない感動と記憶を残します
- 4 大会を文化の祭典としても成功させ、世界をリードする文化都市東京を実現させます
- 5 オリンピック・パラリンピック教育を通じた人材育成と、多様性を尊重する共生社会づくりを進めます
- 6 環境に配慮した持続可能な大会を通じて、豊かな都市環境を次世代に引き継いでいきます
- 7 大会による経済効果を最大限に生かし、東京、そして日本の経済を活性化させます
- 8 被災地との絆を次代に引き継ぎ、大会を通じて世界の人々に感謝を伝えます

#### ◆観光関連の項目

- ・ 大会に向けたバリアフリー化を推進します
- ・ 大会を支えるボランティアを育成するとともに、ボランティア文化の定着を目指します
- ・ 東京を世界有数の観光都市にします など